演目の説明

日本武尊（やまとたけるのみこと）

　九州の熊襲（くまそ）を倒した日本武尊は、父景行天皇に休む間もなく東国の平定を命じられ、すぐに出発します。途中で伊勢の宮に参拝し、叔母の倭姫命にあい天叢雲剣を賜ります。東国に向かった日本武尊は、敵に広い野原に誘い込まれ、八方より火を放たれますが、天叢雲剣で草を薙ぎ払い敵を退治します。
　その剣は草薙の剣（くさなぎのけん）と名を改められたと言い伝えられています。

見どころ

　日本武尊が、相手の懐に呼び込まれてから反撃するシーンは見ものです。なお、尊が女装をして熊襲の首長を討ち取る「熊襲」も人気演目の一つです・